

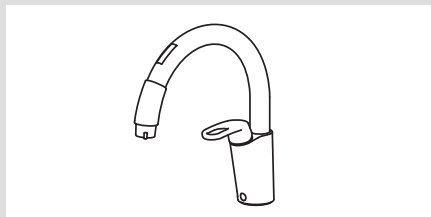
# キッチン用タッチレス水栓 ナビッシュ(乾電池式)

RSF-672A型  
RSF-672NA型

左記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

## 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上正しくお使いください。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。



### ●工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

商品概要	1-2
安全上のご注意	3-9
各部の名称	10

ご使用前に	11-12
ご使用方法	13-19
電池切れ時および故障時の応急処置	17
凍結のおそれがある場合	18

日常のお手入れ	20
定期的なお手入れ	21-24

修理を依頼される前に	25-28
アフターサービスについて	29

仕様	30
保証書	裏表紙

はじめに

つかいかた

お手入れ

こんな時は

# 商品概要

## タッチレススイッチ

センサーに手をかざすだけで、吐水・止水が簡単にできます。しかも、水栓に触れずに吐水・止水できるのでとても衛生的です。

- 「吐水する」 (P.12ページ) を参照する。

## 節水

あらかじめ流量調節をした状態で吐水ができるので、無駄水を抑えられ節水が図れます。

- 「流量を調節する」 (P.11ページ) を参照する。

## 止め忘れ防止機能

万が一水を止め忘れても、約10分で自動的に止水する機能が付いているので安心です。

## ハンドシャワー引き出し機能

ハンドシャワーを引き出すことができるので、シンクの掃除もラクラク。

- 「ハンドシャワーを使う」 (P.14ページ) を参照する。

## シャワーの切替

吐水口先端で、スポット微細シャワーと整流を切り替えることができます。

- 「シャワーを切り替える」 (P.14ページ) を参照する。

## 乾電池仕様

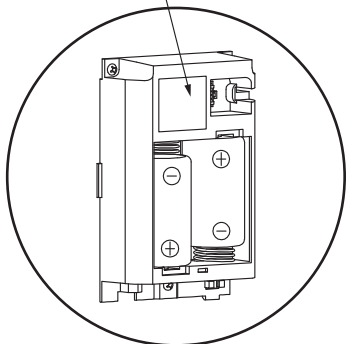
電源工事なしで、設置が可能です。



注意

新しく水栓をお使いになる前に、必ず『安全上のご注意』をお読みください。

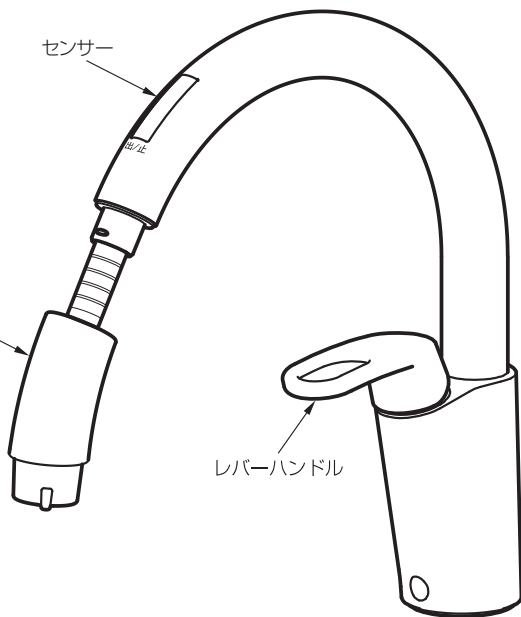
電池ボックス



センサー

ハンドシャワー

レバーハンドル



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 用語および記号の説明

**警告** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

**注意** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…… 「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



(禁止)

…… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



(分解禁止)

…… 「分解してはいけません！」



(指示)

…… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

## 警告：ヤケドをしないために



(禁止)

小さいお子さまだけの使用は避けてください。  
※ヤケドやケガをするおそれがあります。




(禁止)

湯の使用中に他所の水栓と同時使用しないでください。  
※圧力変動により湯温が上昇し、ヤケドをするおそれがあります。






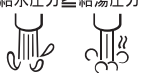


## ⚠ 警告：ヤケドをしないために













 (禁止)	給湯器の給湯温度設定は85℃より高温で使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らすおそれがあります。なお、誤動作などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。	
 (禁止)	高温吐水時には、吐水口での切替操作はしないでください。 ※ヤケドをするおそれがあります。	
 (禁止)	高温の湯をお使いの時は、吐水口やホースに直接肌を触れないでください。 ※高温になっているため、ヤケドをするおそれがあります。	
 (禁止)	高温止水機能による止水後に解除させて吐水するとき、最初に出る湯に触れないように注意してください。 ※配管内に溜まった高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。	
 (禁止)	ストレーナーの掃除をする際は、いきなりストレーナーを緩めずに、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。(P.11を参照ください) ※湯・水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	止水栓  とじる
 (指示)	定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。 ※ヤケド・ケガをしたり、水漏れして家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (指示)	湯をお使いの後は、必ずハンドルを水側にして、しばらく水を流してから止水してください。 ※次に使用する場合、水栓内に残っている高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	湯をお使いのときには、必ず最初に水を出してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調整してください。 ※湯を先に出すと高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告：ヤケドをしないために






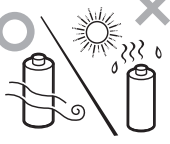
 (指示)	<p>レバーハンドルの位置を確かめて吐水してください。          ※高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>お使いになる前に必ず素手で適温であることを確かめてください。          ※高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。          ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをするおそれがあります。</p>	<p>給水圧力 ≥ 給湯圧力</p> 

## ⚠ 警告：発火・感電防止のために



 (禁止)	<p>水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。          ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>中性洗剤以外は使用しないでください。(P.20 参照)          ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。          ※変色や破損のおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>バスルーム等の水がかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。          ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、重い物を乗せたり、挟み込んだりしないでください。          ※コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>異なる種類の乾電池や新旧の乾電池を混用しないでください。          ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>乾電池（充電式乾電池を除く）を充電しないでください。          ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	

はじめに

## ⚠ 警告：発火・感電防止のために


 (禁止)	<p>乾電池を分解・加工・改造しないでください。          ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>乾電池を水の中に入れてください。          ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>乾電池を加熱したり、火中に投げ入れないでください。          ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>乾電池を強制放電しないでください。          ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電池ボックスに水をかけないでください。          ※電気製品ですので、火災、感電の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>乾電池の液が漏れたときは液をきれいにふき取ってください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。漏液した乾電池は使用しないでください。          ※漏れた液をきれいにふき取らないと、故障の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>乾電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、風通しの良い、乾燥したあまり湿度の上らない場所に保管してください。          ※湿度が高いと乾電池に露（水分）がつき、ショートすることがあります。また高温下に長い間放置されると性能が低下します。</p>	

## ⚠ 警告：正しくお使いいただくために

 (分解禁止)	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。          ※発火、感電したり、異常作動してケガをすることがあります。</p>	
--	---	--

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意：正しくお使いいただくために






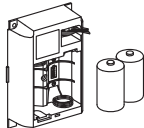
 (禁止)	<p>水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。</p> <p>※商品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因となります。</p> <p>※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。</p>	<p>水道水のみ OK</p> 
 (禁止)	<p>衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。</p> <p>※破損してケガをしたり、水漏れや故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>ハンドシャワー引出し口やレバーハンドル周辺に直接水をかけないでください。</p> <p>※水がキャビネット内に侵入し、家財等をめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。</p> <p>※摩耗・変形などで製品の寿命が短くなり、水漏れの原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>キャビネット内の物を出し入れするとき、給水・給湯ホースに引っ掛けるなど、ホースに無理な力が加わらないようにしてください。</p> <p>※ホースの外れや損傷による水漏れの原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>水栓先端には、後付型自動水栓や浄水器、アルカリイオン整水器などを取り付けしないでください。</p> <p>※浄水カートリッジに水圧がかかり破損するおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>止水機構を持った浄水器は、お取り付けできません。</p> <p>※水栓各部分からの漏水や給湯機器への逆流のおそれがあります。</p> <p>※水の出口に浄水器を付けると、パッキン類が摩耗し、耐久性が低下することがあります。</p>	
 (禁止)	<p>水を飲むときには、吐水口に直接口をつけないでください。</p> <p>※ケガをするおそれがあります。</p>	

## ⚠ 注意：正しくお使いいただくために







 (禁止)	<p>シンク外で吐水しないでください。          ※家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>ハンドシャワーを落としたり、ぶつけたりしないでください。          ※キズがつき、ケガをするおそれがあります。          ※ハンドシャワーにキズが生じた場合は、LIXIL修理受付センターに修理、交換を依頼してください。有料作業にて承ります。(P.26 参照)          ※機能部品が衝撃で破損し、水漏れや故障の原因となります。          ※食器等が破損し、ケガをするおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>ハンドシャワーは、溜めた水などに直接浸けないでください。          ※内部に雑菌が侵入するおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>直射日光が当たる場所での使用はおやめください。          ※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>感知領域内に障害物が入らないようにしてください。          ※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>レバーハンドルはゆっくり操作してください。          ※レバーハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管の損傷等による水漏れで家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>日頃から、ときどき吐水口を動かしてください。          ※水アカなどが付着し動きにくくなります。無理に動かそうとすると、水漏れの原因となります。</p>	
 (指示)	<p>ハンドシャワーを強く引っ張るなど、無理な力を加えないでください。          ※シャワーホースが破損し、ケガや水漏れにより、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

# 安全上のご注意

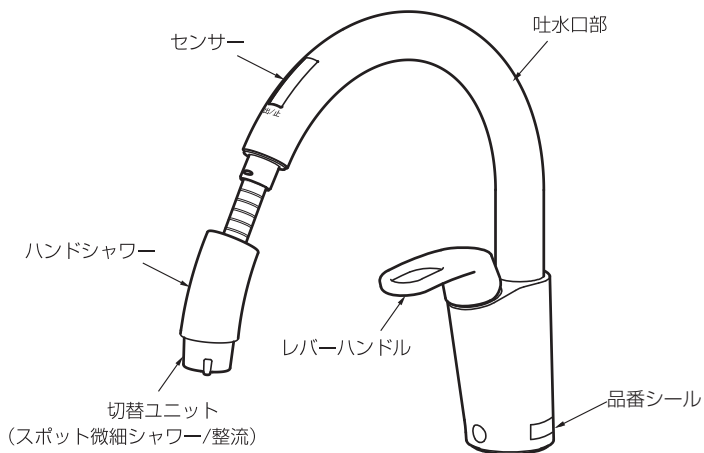
## ⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 (指示)	<p>めっきのハガレはそのまま放置しないでください。          ※はがれためっきやキズでケガをするおそれがあります。          ※修理依頼はお買い求め取扱店または LIXIL修理受付センターへご連絡ください。</p>	
 (指示)	<p>使い始めの水は飲用しないでください。          ※長期間水栓内に滞留した水は、飲用に適さない場合があります。</p>	
 (指示)	<p>長期間ご使用にならない場合は、レバーハンドルを閉じて乾電池を電池ボックスから抜いてください。          ※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因となります。</p>	

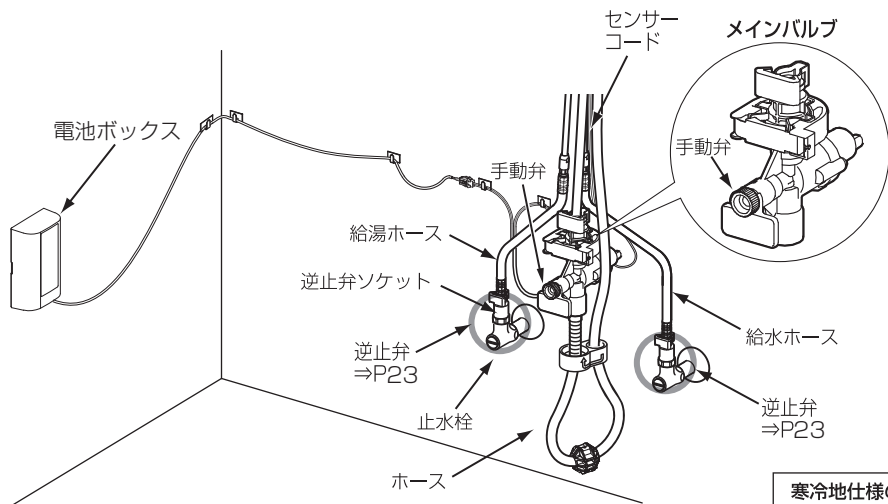
## ⚠ 注意：凍結防止のために

 (禁止)	<p>凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。          ※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>凍結が予想される場合は、P.18 を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。          寒冷地の場合は、配管と水栓の水抜操作を同時に行ってください。          ※凍結破損で水漏れし、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。          ※水栓が凍結すると部品が破損し漏水の原因となります。          ※配管部などに保温材を巻いてください。          ※凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。</p>	

# 各部の名称

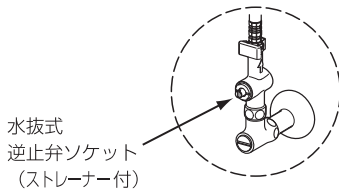


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



寒冷地仕様の場合

※止水栓は本商品には含まれません。



# ご使用前に

## 確認する

### 電池ボックス

- 使用される前にアルカリ乾電池単1形2本が電池ボックスに正しく差し込まれていることを確認します。



### レバーハンドル

レバーハンドルが上がっていることを確認します。



## 給湯機器と組み合わせてご使用の場合

- 安全のため給湯機器は設定温度を60℃以下にご使用ください。  
※不意に熱い湯が出てヤケドをする恐れがあります。

### ガス給湯器をご使用の場合

- 吐出量を絞って使用すると、給湯器の運転に必要な流量に満たず、給湯器が点火しないことがあります。  
このときは、止水栓もしくはレバーハンドルを開き流量を増やしてください。
- 水温が高いときは、給湯器が点火しない場合があります。  
このときは、給湯器の設定温度を少し上げて試してください。

### ポイント

給水温度は季節によって一定ではありません。  
夏は水温が高く、冬は水温が低くなります。

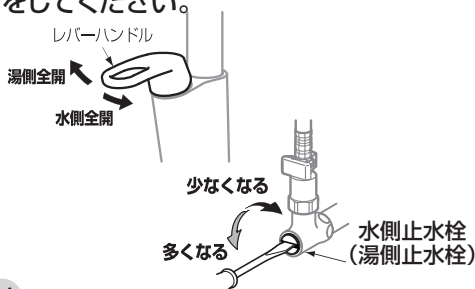
### 瞬間湯沸かし器をご使用の場合

- 季節や用途に合わせて、設定温度や能力を切り替えてご使用ください。
- 給水圧力が低いときは、湯沸かし器が点火しない場合があります。湯沸かし器に十分な水圧がきているかご確認ください。

## 流量を調節する

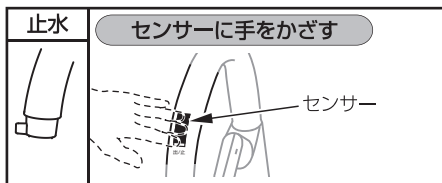
### 止水栓

レバーハンドルを全開にしたときにスポット微細シャワーの流量が約8 L/min (1リットルの容器をいっぱいにするのに約8秒)を超える場合は、止水栓で流量調節をしてください。

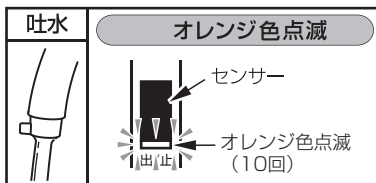


1. レバーハンドルを湯側いっぱいの位置に合わせて全開にします。
2. 湯側の止水栓で適量に調節します。
3. レバーハンドルを水側いっぱいの位置に合わせて全開にします。
4. 湯の吐出量とほぼ同じになるように水側の止水栓を調節します。

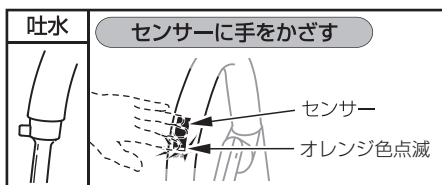
# 吐水する



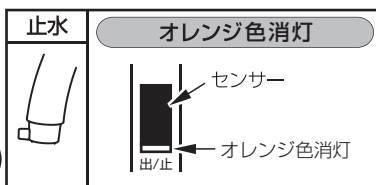
※3秒間以上手をかざし続けると自動的に止水します。  
吐水させたいときは、もう一度手をかざし直します。



# 止水する



1~2秒後  
に止水



※止め忘れた場合でも、10分間吐水後に自動的に止水します。  
※センサーは黒っぽい色には反応しない場合があります。

## ポイント

- オレンジ色が点滅しているのに水が出ない場合は、レバーハンドルが閉じていないか、または止水栓が閉じていないか確認してください。
- センサーに手をかざしても反応しない場合は、乾電池が電池ボックスに差し込まれているか確認してください。



### 注意

●感知エリアに障害物がないようにしてください。  
※誤感知の原因となります。

感知エリア



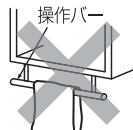
●ご使用前に適温であることを確かめてください。  
※高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。



●昇降キャビネットが降りた時にセンサーが感知する場合、吐水口部を回してからキャビネットを降ろしてください。  
※吐水口部をシンク外に飛び出さないように納めてください。



●感知エリア内の昇降キャビネットの操作バーにタオルなどを掛けしないでください。

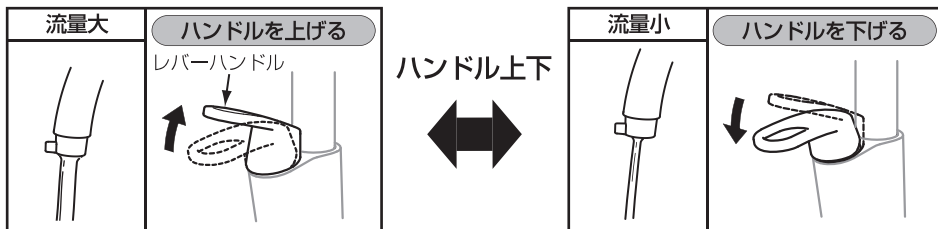


# ご使用方法

## レバーハンドルで湯水を調節する

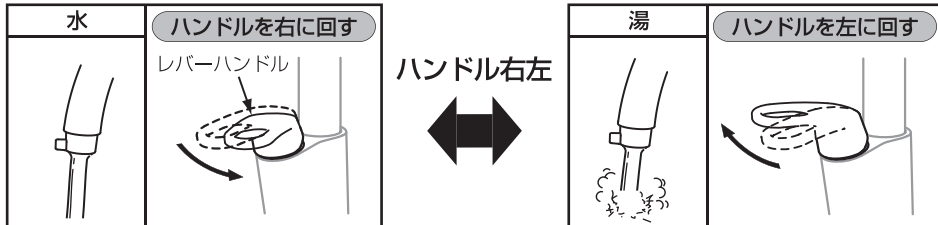
レバーハンドルで吐水する湯水の流量と温度の調節を行います。

### 流量



※レバーハンドルは左右どの位置でも同様に流量を調節できます。  
※長期間使用しない場合は、レバーハンドルを閉じてください。

### 温度



※湯をお使いの場合は、安全のために、まず水を出してからハンドルを回して温度を調節してください。



### 注意

●高温の湯をお使いの後は、必ずレバーハンドルを水側に戻し、しばらく水を流してください。

※次に使うといきなり高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。

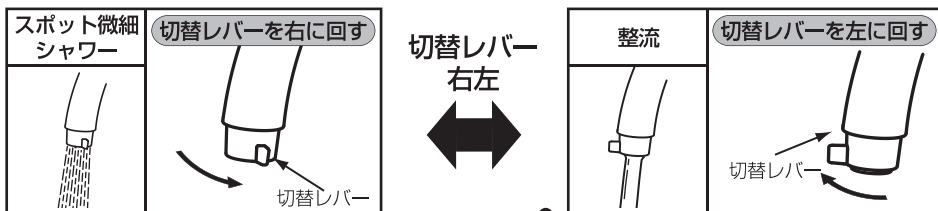


●レバーハンドルを急に回すと温度が急上昇することがありますので、ゆっくりと回してください。

※ヤケドをするおそれがあります。

## シャワーを切り替える

切替レバーを右に回すとスポット微細シャワー、左に回すと整流に切り替わります。



### ポイント

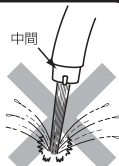
- 切替レバーをシャワー位置に切り替える際、操作が重く感じることがありますが、構造上パッキンをつぶすための抵抗感であり、不具合ではありません。  
※整流位置に切り替える際は、抵抗感はありません。



### 注意

レバーは確実にシャワー位置、もしくは整流位置に切り替えてください。

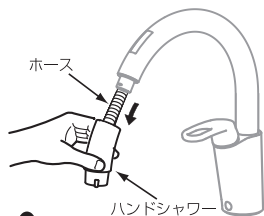
- ※中間位置で止めると水が飛びはね、衣服が濡れる可能性があります。



## ハンドシャワーを使う

ハンドシャワーは引き出して使用することができます。

皿洗いやシンク洗いのときに便利です。



### ポイント

- ハンドシャワーの出し入れがしにくいときは、シャワーホースに手をそえて収納する。
- 寒い時期、ハンドシャワーの出し入れが固いときは、しばらくの間、ホースにお湯または水を通水する。



### 注意

- 高温の湯をお使いのときはホースは高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。

※ヤケドをするおそれがあります。



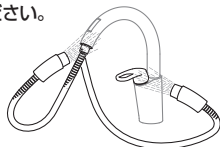
- 吐水口部を回しすぎないでください。

※シンクの外に吐水が飛び出す場合があります。



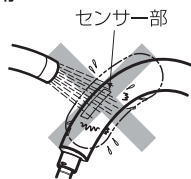
- ハンドシャワー引出口やレバーハンドル周辺に直接水をかけないでください。

※キャビネット内に、水が浸入するおそれがあります。



- センサー部に直接水または洗剤をかけないでください。

※誤作動や故障の原因となります。また、キャビネット内に水が浸入する場合があります。




# ご使用方法

## 交換時期の表示

乾電池の交換時期をお知らせします。



表示	点滅のしかた (イメージ)		状態
乾電池  赤色 交換	点滅	● — ● — —	電池残量：少 (吐水可)
	早い点滅	● — ● — ● — ● —	電池残量：なし (吐水不可)

●：点灯、—：消灯

# 乾電池の寿命と交換方法

電池交換表示が表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。

## 乾電池寿命について

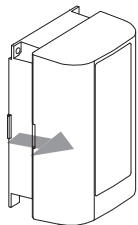
乾電池の寿命は、新品アルカリ乾電池単1形2本を使用して、1日100回使用した場合で約1年です（環境温度20℃）。

※設計上の理論値であり性能を保証するものではありません。乾電池の種類や設置環境により変動します。

※付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。

## 乾電池交換について

1 電池ボックスのカバーを手前に引いて外す。



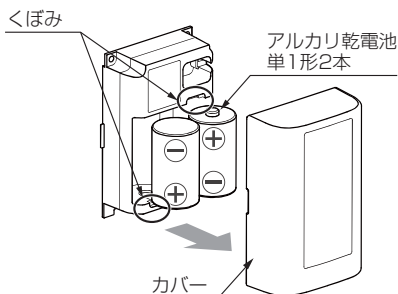
動画はコチラ！

※別途通信料が発生する場合があります。



2 新しいアルカリ乾電池単1形2本に交換する。

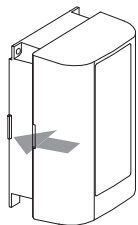
※くぼみがある側に+がくるように乾電池の向きに注意する。



注意

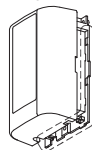
- 電池はアルカリ乾電池単1形を2本ご使用ください。
- 新旧、異種の電池は使用しないでください。
- 電池の+-表示を確かめて入れてください。  
※乾電池の液が漏れて機器の故障の原因となります。

3 電池ボックスにカバーをはめ込む。



注意

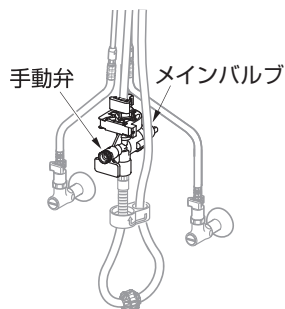
断線の恐れがあるため、センサーコードを挟まないようにしてください。



# ご使用方法

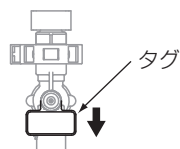
## 電池切れ時および故障時の応急処置

電池切れ時や万が一の故障時には、復帰するまでの応急処置としてメインバルブの手動弁を開けることで、センサーに関係なくレバーハンドルのみで吐水・止水ができます。

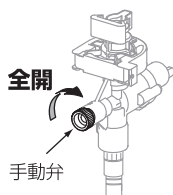


### 非常時

- ① タグを取り外し、



- ② 手動弁を右いっぱいに戻す



手動弁  
開閉

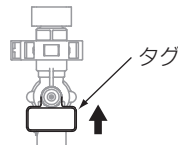


### 正常時

- ① 手動弁を左いっぱいに戻し、



- ② タグを押し込む



※正常時には必ずタグを取り付けてください。

### ポイント

手動弁は非常時のみ開けてください。  
復帰後は、確実に閉めてご使用ください。



注意

高温の湯をお使いの直後は手動弁が熱くなっている場合があります。操作する際は十分注意してください。  
※手動弁は、工具を使わず手でゆっくり回してください。

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、レバーハンドルまたは止水栓を閉じて、取扱店または LIXIL 修理受付センター までお問い合わせください。  
TEL ☎ 0120-179-411 FAX ☎ 0120-179-456

## 凍結のおそれがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも**有料修理**になりますので、ご注意ください。

### 凍結予防のしかた

#### 一般地仕様の場合

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

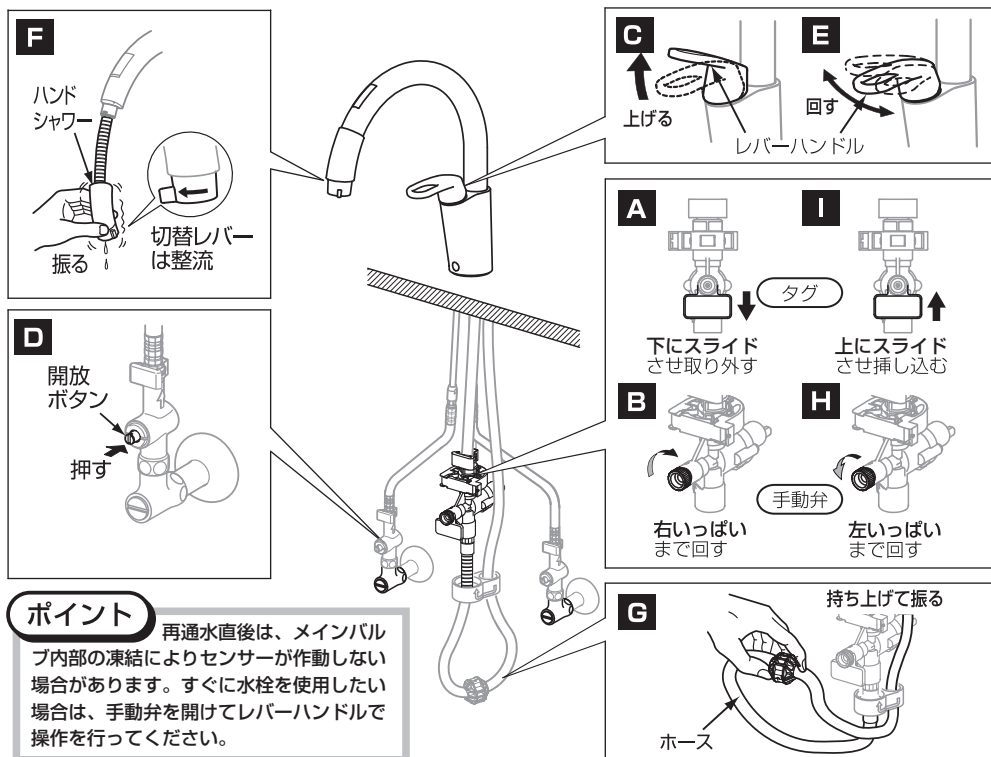
# ご使用方法

## 寒冷地仕様の場合

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. タグを取り外す。(図A)
3. 手動弁を開ける。(右いっぱいまで回す) (図B)
4. レバーハンドルを上げる。(図C)
5. 逆止弁ソケットの開放ボタン(2ヶ)を押す。(図D)  
※洗面器等で排出される水を受けてください。
6. レバーハンドルを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。(図E)
7. 切替レバーを整流にし、ハンドシャワーを振って水をよくきる。(図F)
8. ホースを振ってホース内に残った水を抜く。(図G)
9. 水栓の水が抜けたらレバーハンドルを下げる。
10. 手動弁を閉じる。(左いっぱいまで回す) (図H)
11. タグを手動弁部に取り付ける。(図I)

※再通水の際は必ずレバーハンドルを上げてください。



### ポイント

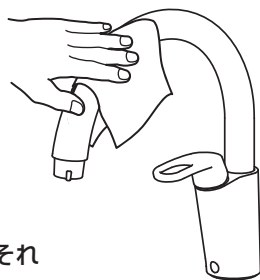
再通水直後は、メインバルブ内部の凍結によりセンサーが作動しない場合があります。すぐに水栓を使用したい場合は、手動弁を開けてレバーハンドルで操作を行ってください。

# 日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

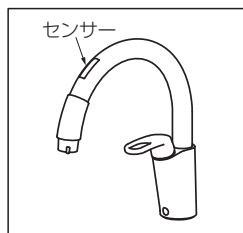
センサーの表面を定期的に掃除してください。

※汚れ、洗剤、水滴は誤作動（勝手に出る等）の原因となります。



## 【水栓・センサー共通】

- 水滴や汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。
- 汚れがひどいときは、100倍に薄めた中性洗剤を含ませた布でふきとり、その後水ぶきし最後にからぶきしてください。



注意

●酸性・アルカリ性の洗剤は本体の変形、変色、故障、性能劣化の原因となりますので使用しないでください。また、誤って酸性・アルカリ性洗剤等が付着してしまった場合はよく水ぶきし、最後にからぶきしてください。

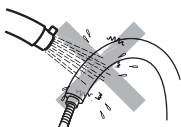
●水栓やセンサーの表面を傷つけたり、侵したりするおそれのあるものは使用しないでください。

- ・クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
  - ・シンナー、ベンジン等の溶剤
  - ・酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、カビ取り剤
  - ・ナイロンたわし、ステンレスたわし、メラミンフォーム、ブラシ等
- ※センサーに傷がつくと正常に作動しなくなる可能性があります。



●お手入れの際にセンサーに直接水または洗剤をかけないでください。

※誤作動や故障の原因となります。



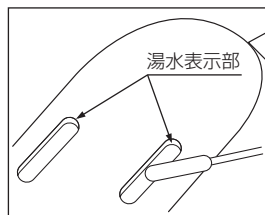
●センサー部にふきんを掛けたり、重いものを載せたりしないようにしてください。

※誤作動や破損の原因となります。



## ハンドル部の掃除

湯水表示部に汚れが溜まった場合は、水で濡らした布や、綿棒などでふきとった後、最後にからぶきしてください。



注意

先端の鋭いもので引っかいたり、強くこすったりしないでください。

※湯水表示部が傷がついたり、剥がれたりする場合があります。

# 定期的なお手入れ

## 掃除する

### 吐水口

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。とどき次の要領で掃除をしてください。  
※不意に吐水しないように、レバーハンドルを閉じてから作業を行ってください。

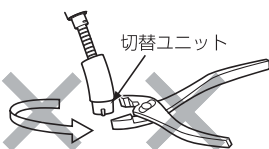
**1** ハンドシャワーを引き出す。



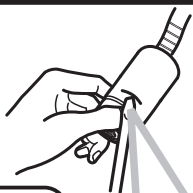
**2** 裏側にある切替ユニットストッパーをマイナスドライバーなどで引き抜く。



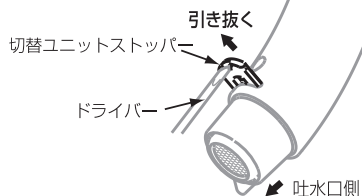
(禁止)



切替ユニットを工具等で回さないください。  
※破損の原因となります。

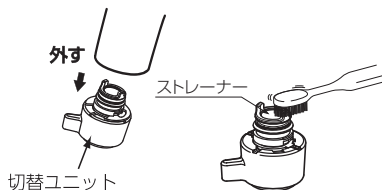


#### ポイント



切替ユニットストッパーは、片側にドライバーなどで取り外すための溝があります。ドライバーを溝に掛けて取り外してください。

**3** 切替ユニットを外して、ストレーナーに付いたゴミを歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とす。



**4** 切替ユニットを取り付け、切替ユニットストッパーをはめる。

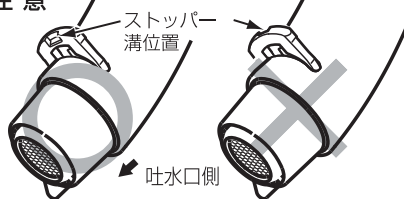
#### ポイント

取り付けるときは、位置合わせの向きを合わせるように差し込む。



注意

●切替ユニットストッパーを取り付けるときは、溝が吐水口側になるようにしてください。

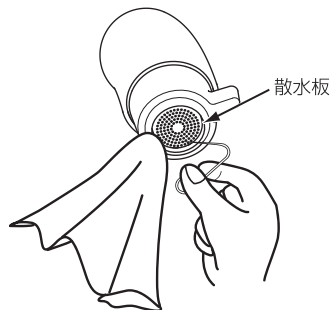


●取り付け後は切替ユニットが抜けてこないことを確認してください。



## 散水板の掃除(年1回以上)

散水板が汚れていると、水の流れが乱れたり、水切れが悪くなってしまいます。日頃から、散水板の表面を水ぶきしてください。また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐水量が少なくなります。年に1回程度、散水板の穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ってください。



注意

強い力で刺さないでください。

※散水穴が変形するおそれがあります。

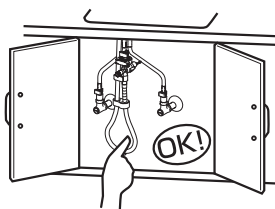
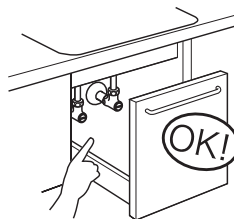
## 水まわりの水漏れ(年2回以上)

- 水まわりの水漏れがないか点検してください。
- 見えない部分は特に注意が必要です。

(洗面台・キッチンキャビネット内)

※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め(☞P9参照)、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



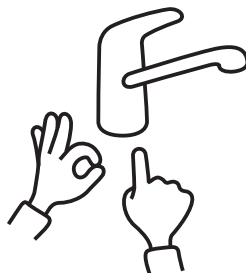
お手入れ

# 定期的なお手入れ

## 水栓本体のガタツキ(年2回以上)

- 水栓本体のガタツキがないかを確認してください。  
※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因となります。

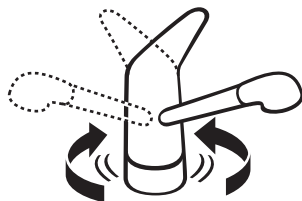
水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



## 吐水口部の操作性(月1回以上)

- ときどき吐水口部を回してください。  
※吐水口部を長時間回さずに使用すると、回転部に水アカなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因となります。

動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



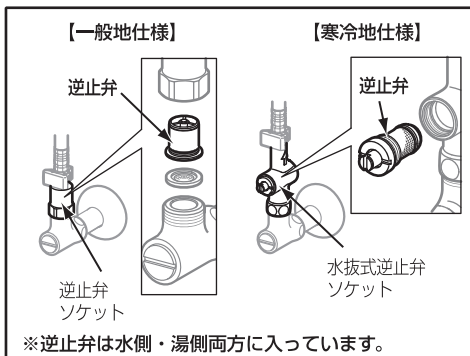
## 定期的な部品交換のお願い

いつまでもご愛用いただくために、定期的に部品交換をしてください。

※保証期間外の各部品交換は、**有料**になります。

- 逆止弁ソケット内にある「逆止弁」(2か所)を3~5年ごとに交換してください。

### 逆止弁ソケット部分解剖



### 逆止弁の交換時期は、3~5年です。

逆止弁の交換は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

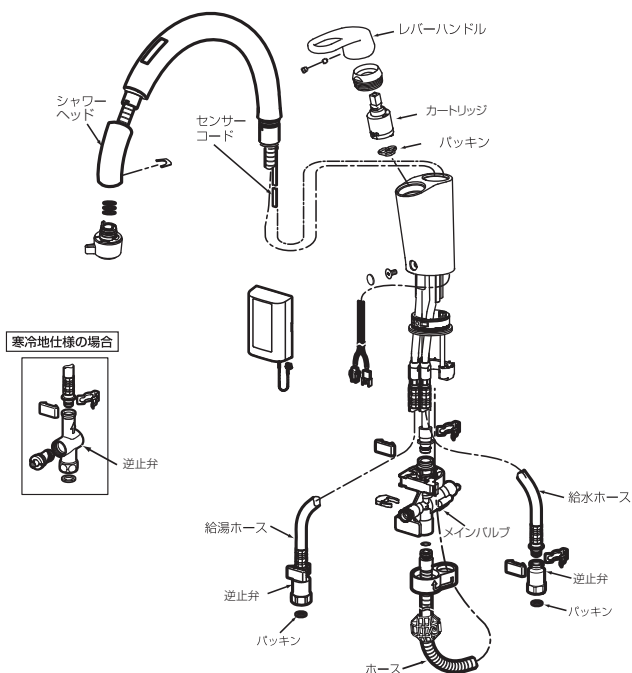
フリーダイヤル

**0120-179-411**

LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

## 摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因となりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例(水栓の種類によって異なります)  
例)逆止弁、ハンドル、シャワーヘッド、シャワーホース、バルブ部(シングルレバーカートリッジなど)、電装品(電磁弁、センサーなど)、パッキンなど
- 部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。  
※保証期間外の各部品交換は、**有料**になります。



## 定期的な点検・部品交換のめやす

使用年

/ 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換


摩耗劣化部品の交換(逆止弁は3年~5年)

買換え  
ご検討

# 修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

※確認箇所名称については「各部の名称」(P10)を参照してください。

現象	確認内容	処置方法	参照ページ
吐水しない  	止水栓は開いていますか？	止水栓を開く。	11
	乾電池が正しくセットされていますか？	乾電池を正しくセットする。	16
	電池切れになっていませんか？	乾電池を交換する。	16
	断水中ではありませんか？	回復するまで待つ。	--
	センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴が付いていませんか？	柔らかい布でふきとる。	20
	ストレーナーのゴミ詰まりはありませんか？	ゴミを取り除く。	21,22,27,28
	レバーハンドルが閉じていませんか？	レバーハンドルを開ける。	11
流量が少ない	止水栓を絞りすぎていませんか？	適切な流量になるまで止水栓を開く。	11
	吐水口やストレーナーにゴミが付着していませんか？	ゴミを取り除く。	21,22 27,28
	レバーハンドルを絞りすぎていませんか？	レバーハンドルを上げる。	11
	能力切替付の給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力設定は適正ですか？	能力設定を適正にセットする。	11
すぐ止まる	センサーに3秒以上手をかざし続けていませんか？	水が出たら手をセンサーから引く。	12
出たり止まったりを繰り返す (勝手に出る)	センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴が付いていませんか？	柔らかい布でふきとる。	20
吐水しない	センサーの感知エリア内に障害物はありませんか？	障害物を取り除く。	12
	センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴が付いていませんか？	柔らかい布でふきとる。	20
	手動弁が開いていませんか？	手動弁を閉じる。(左いっぱいに戻す)	17
センサーの反応が遅い 反応が遅いときと早いときがある	手をかざすタイミングとセンサーの感知周期によって反応が遅く感じる場合があります。約1秒かざして反応すれば正常です。	—	—

現象	確認内容	処置方法	参照ページ
希望の温度の湯が出ない	止水栓を絞らずでいていませんか？	適切な流量になるまで止水栓を開く。	11
	レバーハンドルの位置は湯側にありますか？	湯が出る位置までレバーハンドルを湯側に回す、もしくはレバーハンドルを湯側全開にする。	13
	吐水口やストレーナーにゴミが付着していませんか？	ゴミを取り除く。	21,22 27,28
	給湯器から十分な温度のお湯がきていますか？	給湯器の温度設定を確かめる。	-
	ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、流量を絞らずでいていませんか？	適切な流量になるまで止水栓もしくはレバーハンドルを開く。	11,13
	ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、給水温度は高くありませんか？	給湯器の設定温度を少し上げる。	-
ラジオにノイズが入る	水栓のすぐ近くに置いていませんか？	ラジオを水栓から遠ざける。	-
オレンジ色が点滅しているのにセンサーが反応しない	湯水センサーに約6秒以上続けて何かをかざしませんでしたか？ (オレンジ色の点滅の間隔が1秒間隔になっていませんか？)	しばらく（30秒ほど）センサーに何もかざさないでください。リセットモードから自動復帰します。何もかざさなければリセットはされません。	12

●水を止めた後に少しのあいだ水が垂れる・・・

切替ユニットの内部に溜まった少量の水が排出されるため、故障ではありません。



●使用していないのに、水がポタポタと数滴垂れる・・・

内蔵の圧力逃がし弁（※）が作動したため、故障ではありません。

※圧力逃がし弁とは、他所の水栓や洗濯機などの使用時に起こる急激な圧力上昇から水栓を保護するための弁で、作動すると吐水口から数滴の水が垂れることがあります。

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、レバーハンドルまたは止水栓を閉じ、コンセントからACアダプターを抜き、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。 TEL ☎ 0120-179-411 FAX ☎ 0120-179-456

# 修理を依頼される前に

## 流量が少ないときは？

流量が少なくなった場合は、ストレーナーのゴミ詰まりが考えられるため、LIXIL修理受付センターへご連絡いただき、次の要領で掃除をしてもらってください。(有料になります。)

### ストレーナーの掃除

- 1** 止水栓を閉じる。  
(右いっぱいに戻す)

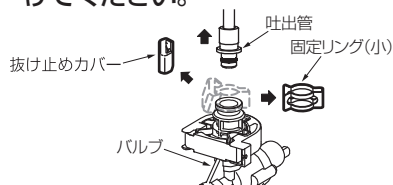


#### ポイント

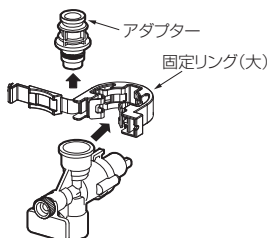
止水確認および圧抜きのため一度センサーに手をかざしてみる。



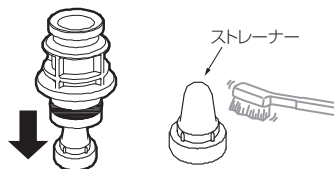
- 2** バルブの抜け止めカバーと固定リング (小) を外し、吐出管からバルブを外す。  
※洗面器などで排出される水を受けてください。



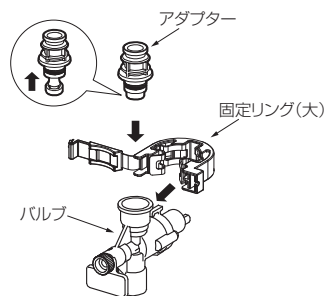
- 3** 固定リング (大) を外し、アダプターを外す。



- 4** ストレーナーを外し、ゴミや汚れを洗剤を使わずにこすり落とす。



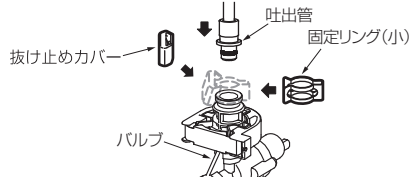
- 5** ストレーナーをアダプターに入れ、バルブに取り付け、固定リング (大) を取り付ける。



- 6** 固定リング (大) をカチッという音がするまで閉じる。



- 7** 吐出管に接続する。

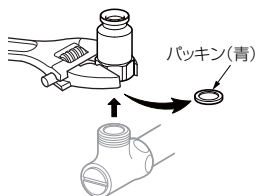


## 逆止弁ソケット部ストレーナーの掃除(水・湯給水部共通)

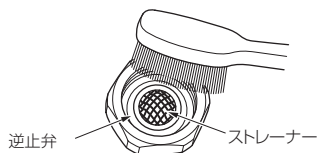
### 一般地仕様の場合

**1** 止水栓を閉じる。  
(右いっぱいに戻す)

**2** 給水、給湯ホースを外してから逆止弁ソケットを外して、パッキン(青)を取り外す。



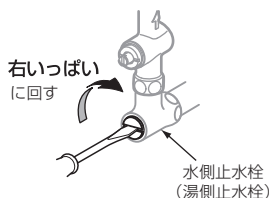
**3** ストレーナーのゴミ等を歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とし、水洗いして除去する。



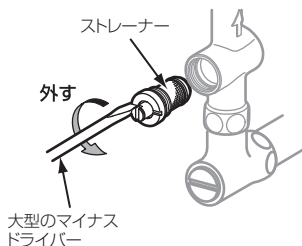
**4** パッキン(青)を元に戻して逆止弁ソケットを止水栓に固定する。給水、給湯ホースを取り付ける。

### 寒冷地仕様の場合

**1** 水側(湯側)の止水栓を右いっぱい回して閉じる。



**2** ストレーナーを取り外し、ゴミを歯ブラシ等で洗剤を使わずに洗い流す。






**3** ストレーナーを取り付ける。

# アフターサービスについて

## 1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P25～26)を参照して確認する。

 <b>警告</b>		
 (分解禁止)	<b>修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。</b> ※ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。	

## 2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

**保証期間は取付けの日から2年間です。**

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

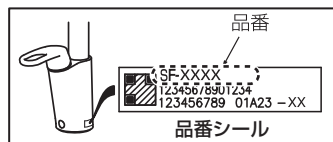
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- 「技術料」+「出張料」+「部品代」で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号   | 2. 商品名    |
| 3. 品番(商品に表示、右図参照) | 4. 購入日    |
| 5. 故障内容、異常の状況     | 6. 訪問ご希望日 |



## 4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

## 5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへ

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00～19:00 (365日受付)

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

《使い方・お手入れ方法など商品に関するお問い合わせは》

■お客さま相談センター

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

# 仕様

		RSF-672A型	RSF-672NA型
		一般地仕様	寒冷地仕様
電源	乾電池	DC3V(アルカリ乾電池単1形2本)	
乾電池寿命		約1年(環境温度20℃、100回/日 使用時)(※1)	
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水(※2)	
給湯器設定温度		85℃以下	
使用環境温度		0~40℃(※3)	-20~40℃(※3)
感知距離		約 40 mm (グレーカード: 80 mm角)	
感知エリア幅		約φ5 mm	
電池ボックスコード長さ		1.5m	
給水(給湯)接続		G 1/2	
使用可能な最小動水圧		0.06 MPa (常用使用圧力0.06~0.35 MPa)	

※1: 設計上の理論値であり性能を保証するものではありません。乾電池の種類や設置環境により変動します。

※2: 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

※3: ただし、内部の水を凍結させないでください。

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：キッチン用タッチレス水栓（品番：_____）			
保証期間	取付日より <b>2</b> 年	取付日	年 月 日
お客さま	おなまえ _____ 様	取扱店名	TEL ( ) - _____
	おところ _____		
	おでんわ ( ) _____		
<b>無効</b>			
お客様へ			
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。			
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。			

## 無料修理規定（保証規定）

- [取扱説明書]・[ラベル]などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご購入、ご購入品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたは LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
  - 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
  - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
  - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
  - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
  - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
  - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
  - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
  - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
  - 天災地変（火災、爆発等事故、落雷・地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合および損傷
- 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
  - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
  - 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
  - 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる故障及び損傷不具合
  - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
  - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
  - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
  - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
  - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

■WEB修理依頼はこちら

※24時間依頼可能

■お電話でも修理を承ります

受付時間/9:00~19:00



TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

<https://www.lixil.co.jp/support/>

## 株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>